

西多摩の民俗芸能

民俗芸能の分布



本書中の写真については、(1)、(2)、(5)、(6)、(7)、(8)、(12)を久保猛磯氏(青梅市在住)より、(11)を吉野栄喜氏(羽村町在住)より借用し掲載いたしました。

福生市郷土資料室

西多摩の民俗芸能

民俗芸能は、私たちの祖先が生活の中から生み出し、心から心へ伝え受け継いできた無形の文化遺産です。あるものは神仏との語らいや願いを素朴ながらも豊かな表現で舞い、あるものは労働や生活の様子を歌として表現してきました。

現在、西多摩地方には様々な民俗芸能が伝えられています。この地域は奥多摩の山なみを背後にしており、江戸・東京と続く文化圏の懐ともいべき地形をなしています。このため江戸や上方から伝わって来た芸能がこの地に留まりやすかったことと思われまます。

現在、東京に伝わる祭や民俗芸能の多くは、急激な社会構造の変化や生活様式の変化によって地域的な特徴をなくしてしまったり、本来の姿から離れてしまったりしています。それに比べ西多摩地方では、長い間大きな社会構造の変化がなかったため、古くからの伝統を受け継いだ民俗芸能が数多く伝えられています。

これら貴重な文化遺産を正しく理解し、適切な方法で次の世代に伝えていくことは、現在に生きる私たちの責務といえます。

西多摩の民俗芸能一覽

期 日	名 称 ・ 内 容	奉納神社・上演場所
3月		
2日	お飼神事・上元郷、本宿神田囃子	檜原村：春日神社（本宿500）
15日	下元郷重松囃子	檜原村：貴布禰伊竜神社（泉沢266）
4月		
第1日曜日	落合神田囃子	五日市町：大戸里神社（乙津294）
〃	〃	〃 八幡神社（乙津427）
〃	秋波神社の囃子・獅子舞	青梅市：秋波神社（梅郷2-318）
〃	千束神田囃子	檜原村：御霊檜原神社（千足2774）
上旬の日曜日	小沢囃子（重松流）	檜原村：伊勢社（宮ヶ谷戸3684）
8日に近い土・日	高水山常福院獅子舞	青梅市：高水山常福院（成木7-1192）
8日に近い日曜日	中里、千束神田囃子（新神田流）	檜原村：大嶽神社（白倉8189）
第2日曜日	引田囃子（葛西新）	秋川市：八雲神社（引田776）
〃	千ヶ瀬囃子	青梅市：千ヶ瀬神社（千ヶ瀬2-117）
〃	稲荷神社の囃子	〃 稲荷神社（和田町2-476）
〃	畑中神社の囃子	〃 畑中神社（畑中2-556）
〃	菅原神社の囃子	〃 菅原神社（梅郷4-584）
〃	阿蘇神社の囃子（重松流）	羽村町：阿蘇神社（羽加美4-6-7）
〃	松本神社の囃子	〃 松本神社（羽1824）
〃	稲荷神社の囃子（重松流）・祇園囃子	〃 稲荷神社（羽東400-1）
〃	神明神社の囃子	〃 神明神社（神明台1-16-6）
〃	玉川神社の囃子（神田流）・祇園囃子	〃 玉川神社（羽中4-1-16）
〃	五ノ神社の囃子（神田流）・祇園囃子	〃 五ノ神社（五ノ神1-1-6）
15日	小中野神田囃子	五日市町：子生神社（小中野329）
15日に近い日曜日	青梅藤若囃子（目黒流）	青梅市：柚保葛神社（藤橋2-107）
〃	春日囃子（神田流）	日の出町：春日神社（平井3690）

15日に近い日曜日	長井、水口囃子（神田流）	日の出町：山神社（大久野5785）
”	”	” 長井八坂神社（大久野2719）
”	あだち流高根囃子	瑞穂町：元狭山神社（駒形富士山609）
”	箱根ヶ崎の囃子（あだち流）・獅子舞	” ”
”	石畑、殿ヶ谷の囃子（重松流）	” 神明神社（石畑1773）
”	”	” 御嶽神社（石畑1848）
”	”	” 阿豆佐味天神社（殿ヶ谷1008）
17日	戸倉本郷新神田囃子	五日市町：三島神社（戸倉414）
19日に近い日曜日	報徳重松囃子	日の出町：一ノ護王神社（大久野4251）
”	”	” 高原社（大久野4151）
29日	油平囃子（神田くずし）	秋川市：八幡社（油平255）
”	小丹波囃子（神田流）	奥多摩町：熊野神社（小丹波473）
”	川井獅子舞	” 八雲神社（川井717）
中旬の日曜日	奥多摩湖桜まつり（奥多摩町の郷土芸能各種を上演）	奥多摩町：奥多摩湖畔
5月		
2日・3日	住吉神社の祭礼囃子（神田流）	青梅市：住吉神社（青梅12）
3日	神戸神田囃子	檜原村：春日神社（神戸3417）
5日	天乃社獅子舞（太神楽獅子の村回り）	青梅市：天乃社（二俣尾5-1615）
8日	日の出祭り（神幸祭の行列）	青梅市：武蔵御岳神社（御岳山176）



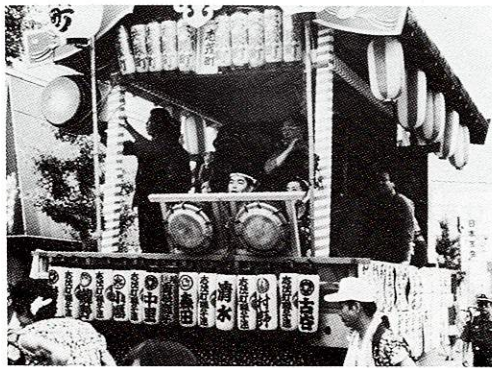
(1) 稲荷神社祭礼（羽村町）



(2) 住吉神社祭礼（青梅市）

期 日	名 称 ・ 内 容	奉納神社・上演場所
7月		
15日	愛宕神社の獅子舞（太神楽獅子の村回り）	青梅市：愛宕神社（柚木町1-944）
”	養沢獅子舞	五日市町：養沢神社（養沢1018）
15日に近い土・日	八雲神社の囃子・祇園囃子	瑞穂町：八雲神社（箱根ヶ崎2604）
15日に近い日曜日	天王様の囃子	青梅市：八坂神社（小曾木3-1629-2）
”	峰の獅子舞	奥多摩町：花入神社（小留浦1454）
16日に近い日曜日	引田獅子舞	秋川市：真照寺（引田863） 大宮神社（引田944） 八雲神社（引田776）

16日に近い日曜日	引田獅子舞	秋川市：熊野神社（引田724）
25日に近い日曜日	野辺神楽・重松囃子	秋川市：八雲神社（野辺316）
”	沢井獅子舞	青梅市：八雲神社（沢井2-902）
8月		
第1土曜日	神庭の神楽	奥多摩町：神庭山祇神社
1日に近い土・日	羽村町夏祭り（各種郷土芸能上演）	羽村町：羽村町役場前
”	福生、熊川天王様祭礼・囃子（重松流、 神田流）・祇園囃子	福生市：神明社（福生1081） 熊川神社（熊川660）
7日を基準に4日間	福生七夕祭り（各種郷土芸能を上演）	福生市：福生駅前周辺
9日・10日	南氷川の囃子（神田流）・羽黒三田神社 の獅子舞（10日）	奥多摩町：羽黒三田神社（氷川1365）
10日	奥氷川神社の獅子舞	奥多摩町：奥氷川神社（氷川178）
第2日曜日	元栖神社獅子舞（白丸の獅子舞）	奥多摩町：元栖神社（白丸100）
”	瑞穂町産業祭（郷土芸能各種）	瑞穂町：瑞穂町役場周辺
15日に近い日曜日	八坂神社の囃子	青梅市：八坂神社（梅郷6-1628）
”	玉の内獅子舞	日の出町：三嶋神社（大久野8747）
16日	白髭神社獅子舞（境獅子舞）	奥多摩町：白髭神社（境470）
第3日曜日	棚沢獅子舞	奥多摩町：熊野神社（棚沢517）
”	海沢獅子舞	” 海沢神社（海沢630）
24日	一石山神社獅子舞（日原の獅子舞）	奥多摩町：一石山神社（日原1052）
第4日曜日	山祇神社獅子舞（小留浦の獅子舞）	奥多摩町：山祇神社（氷川1275）
”	根元神社獅子舞（栃久保の獅子舞）	” 根元神社（氷川1804）
末の日曜日	留原神田囃子（新神田囃子）	五日市町：八坂神社（留原320）
”	大丹波青木神社の獅子舞	奥多摩町：青木神社（大丹波199）



(3)祭り囃子（福生市）

祭り囃子

祭り囃子は大きく分けて江戸囃子と祇園囃子に分けられます。江戸囃子は享保年間に修験道の行者能勢環が武州葛西郡金町村（現葛飾区）にて若者善導のため作り出したものです。その後各地に広まり様々な流派が生まれました。西



(4)祇園囃子（瑞穂町）

多摩地方には神田・重松・あだち・葛西・目黒などの流派が伝えられています。

祇園囃子は京都の祇園祭りに由来するもので、その発生は室町時代ごろとされています。この囃子は祇園信仰の全国的広まりとともに各地に伝えられました。しかしそれぞれの地方におい

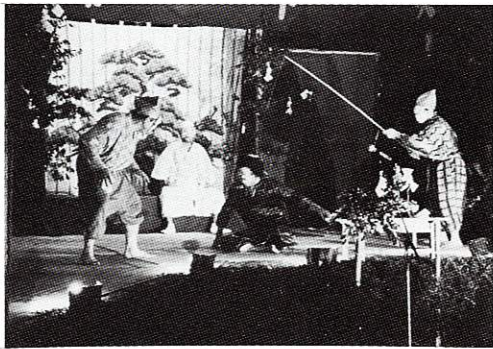
て、その土地に合った音へと自然変曲されていったため、名前は同じでも全く異った音曲として伝承されています。西多摩地方では祭の行列の先導役として囃される場合が多いようです。



(5) 人里獅子舞（檜原村五社神社）

獅子舞

関東地方に広く分布する芸能で、獅子頭を頭にかぶり太鼓を腹につけた獅子が、笛と歌の囃子によって太鼓をたたきながら舞います。この時地面を強く踏みつける動作をしますが、それは地霊を鎮める鎮魂の態を表現しています。



(6) 柏木野神代神楽（檜原村南郷神社）

神楽

西多摩地方に見られる神楽は大きく分けて神代神楽（太々神楽）と太神楽の二つに分けられます。神代神楽は、神話や伝説を題材に能楽や田楽の要素が入った舞が演じられ、古風な独特の



(7) 柏木野神代神楽

雰囲気伝えてくれます。また太神楽は、獅子舞による祓いが主体となったもので、伊勢の下級神人が各地の村々を訪れて、神のやどった獅子頭を舞わし、



悪魔はらいをおこなったものを村人たちが習い覚えて伝えたものです。

(8) 天乃社太神楽獅子舞（青梅市天乃社）

期 日	名 称 ・ 内 容	奉 納 神 社 ・ 上 演 場 所
9 月		
1 日	貴布禰伊龍神社獅子舞	檜原村：貴布禰伊龍神社（泉沢266）
1 日・2 日	八坂神社獅子舞（桶里獅子舞）	檜原村：八坂神社（小岩4392）
2 日・3 日	貴布禰神社獅子舞（笹久保獅子舞）	檜原村：貴布禰神社（笹久保4529）
第 1 土曜日	星竹囃子（新神田流）・祇園囃子・五色の幟行列	五日市町：神明社（戸倉1041） 八雲神社（戸倉966）
”	小沢式三番・湯久保獅子舞・小沢囃子（重松流）	檜原村：峯岸登家（小沢3786） 伊勢社（小沢3784）

第1日曜日	高尾獅子舞（三匹獅子と太神楽獅子）	五日市町：高尾神社（高尾660）
"	山田獅子舞	" 天満宮（山田820）
"	乙津太神楽獅子舞（丸一太神楽）	" 神明社（乙津1402）
"	西戸倉祇園囃子・五色の幟行列	" 神明社（戸倉464）
9日	生姜祭（農村歌舞伎・重松囃子）	秋川市：二宮神社（二宮2252）
14日	笹野式三番	檜原村：野村太気夫家（笹野763） 神明社（笹野746）
第2日曜日	八坂神社獅子舞	青梅市：八坂神社（梅郷6-1628）
15日	瀬戸岡獅子舞	秋川市：神明社（瀬戸岡445）
"	落合神田囃子	五日市町：春日明神社（乙津427）
"	伊奈宮本、上宿、新宿重松囃子	" 岩走神社（伊奈1575）
"	小河内神社祭礼（原の獅子舞・坂本の獅子舞・川野の獅子舞・小留浦の花神楽・鹿島踊・川野の車人形）	奥多摩町：小河内神社（河内149）
"	幸神囃子（重松流）	日の出町：幸神神社（大久野2129）
"	八幡囃子（重松流）	" 八幡神社（平井1811）
"	本宿・上元郷神田囃子	檜原村：春日神社（本宿500）
"	人里獅子舞	" 五社神社（人里2013） 南秋川小・中学校
"	下川乗獅子舞	" 南郷神社（出畑6124） 下川自治会館
15日・16日	数馬太神楽・馬鹿面囃子・獅子舞	檜原村：九頭龍神社（数馬7076）
15日に近い土曜日	沢又獅子舞	檜原村：春日神社（中組9260） 藤倉小学校
"	柏木野神代神楽	" 南郷神社（出畑6124）
19日に近い日曜日	草花囃子（重松流）	秋川市：草花神社（草花1787）
	鹿島玉川神社獅子舞	青梅市：鹿島玉川神社（長瀬2-519）
23日	小宮獅子舞	秋川市：小宮神社（草花2981）
"	長岡囃子（重松流）	瑞穂町：愛宕神社（長岡長谷部374）
28日～30日	阿伎留神社祭礼（北寒獅子舞・入野獅子舞・栄町、上町神田囃子）	五日市町：阿伎留神社（五日市1081）
29日	小川囃子（重松流）	秋川市：熊野神社（小川639）
29日に近い日曜日	雨間囃子（深川重松流）	秋川市：雨武主神社（雨間1941）
最終日曜日	油平囃子（神田くずし）	秋川市：八幡社（油平255）
"	森山囃子	" 森山神社（草花275）
29日に近い日曜日	春日神社祭礼（鳳凰の舞・志茂町、加美町重松囃子）	日の出町：春日神社（平井3690）
"	尾崎獅子舞	秋川市：宝蔵寺（菅生263）
末の日曜日	上代継獅子舞	秋川市：白滝神社（上代継331） 真城寺、金松寺
"	友田獅子舞	青梅市：御岳神社（友田町5-569）
10月		
1日	武蔵御岳神社太神楽	青梅市：武蔵御岳神社（御岳山176）
10日	野上獅子舞	青梅市：春日神社（野上1-38）

10日	成木獅子舞	青梅市：成木神社（成木3-207）
15日前後の日曜日	梅郷八幡神社囃子	青梅市：八幡神社（梅郷6-1220）
第2日曜日	二俣尾獅子舞	青梅市：石神社（二俣尾1-199）
11月		
1日～3日	秋川市民まつり（各種郷土芸能上演）	秋川市：中央公民館
〃	青梅観光まつり（ 〃 ）	青梅市：永山公園グラウンド
〃	羽村町産業まつり（ 〃 ）	羽村町：富士見公園
不定期	狭山神社獅子舞	瑞穂町：狭山神社（箱根ヶ崎1）



(9)鳳凰の舞（日の出町春日神社）

日の出町平井地区に伝わる芸能で、京都から伝わった雨乞いの行事といわれています。舞は少年達による「奴の舞」と青年達による「鳳凰の舞」で構成されています。



(11)鹿島踊り（奥多摩町小河内神社）

小河内ダムの建設により全戸転出した日指・岫沢・南の三地区に伝わった踊りで、発生については京都の公卿の落人が伝えたとも、旅僧によって伝えられたとも言われています。踊りは男子女装の踊りで、江戸初期かそれ以前の小唄が原典となっているといわれます。



(10)式三番（檜原村小沢伊勢社）

檜原村の小沢・笹野の両地区に伝わる芸能でその発生は中世にまでさかのぼり、上方からの落人（公卿）によって伝えられた（小沢地区）、猿楽の流れを引く師匠を招いて創始され（笹野地区）といわれています。式三番は能の演目で祝福舞として知られていますが、こちらの式三番は土俗的に構成されており、能とはちがった演出ぶりが見ものです。



(12)農村歌舞伎（秋川市二宮神社）

明治の中頃、二宮の神楽師たちによって始められたものです。かつては各地の神社で奉納芝居として上演され、通称「二の宮の芝居」と呼ばれて多くの人に親しまれてきました。その活動範囲は西多摩地方だけでなく、遠く筑波や小田原にまでおよびました。